

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	山形県朝日少年自然の家	指定管理者	株式会社ヤマコー
所在地	西村山郡大江町大字左沢字楯山2523-5	県担当課	教育局生涯教育・学習振興課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	(電話番号)	(023-630-3126)
検証期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		

検証項目		指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証
1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況			
① 管理・運營業務の履行状況	・指定管理制度3期目4年目となる今年度は、県職員の方々との協力・連携をさらに強化し、施設の維持管理、受入支援及び企画・自主事業の実施に取り組みました。利用状況としては、10月から天井改修及び非常用照明等更新工事が施工され半年間本館の利用受け入れを中止した影響により利用団体数は389団体（前年比94.2%）、実利用者数は11,019名（前年比86.0%）、延利用者数は13,718名（前年比87.7%）と前年を下回りました。 ・広報活動では、事業要項を近隣市町の全小中学生に配布しました。また、専用ホームページ、Instagram、県のフェイスブック、県報、新聞にも企画事業等の要項を掲載し、広く県民の皆様に対する周知に努めました。 ・県及び指定管理者の運営並びに調整会議の定例化（週1回）を継続し、スムーズな施設管理・事業運営に取り組みました。 ・施設、設備等の老朽化への対応として、本館玄関水道配管修繕及び保温工事や渡り廊下窓ガラス修繕を行いました。	評価	「評価の理由」 ・管理運営について、包括協定の仕様書に基づき、適切に行われている。 ・指定管理者のノウハウを活かし、各種事業の実施やSNSを利用する等した広報活動を展開し、アプローチしている。 ・県と指定管理者の調整会議を定期的開催し、課題等を共有しながら、連携・協力のもと施設運営が行われている。 ・施設設備の安全点検及び修繕等を適宜適切に行い、利用者が安全・安心に利用できる施設の維持管理に努めている。
② 管理・運営上の課題、問題点（改善すべきこと）	・施設設備の老朽化が進んでおり、体育館の壁面、水道設備、体育館屋根の塗り替え、浴室天井の張替え、野外遊具の改修等、利用者の安全確保に係る修繕計画を作成していく必要があります。また、利用者及び団体の熱中症や熊に対する警戒が以前より強くなっており、利用形態に変化があるため、今後の在り方を検討する必要があります。	「課題等の原因分析」 ・施設設備の老朽化が進み、要修繕箇所が増加している。 ・設備の部品供給の終了により、修繕不可の設備もあり、大規模な設備の更新・修繕等の計画的な実施について検討を要する。 ・酷暑対策、鳥獣対策について、注意喚起のみでは対応に限界がある。	
課題、問題点への今後の対応	・施設設備の老朽化に対しては、利用者の安全確保を第一とし、引き続き、県と指定管理者で協議しながら、適切に必要な修繕を検討していく。 ・酷暑対策や鳥獣対策について、県としても今後の対応を検討していく必要がある。		
2 利用者からの要望等への対応			
① 意見・要望等及びその対応状況	・野外炊飯のメニューを増やしてほしいとの要望に対し、3種類の新しいメニューを増加しました。 ・利用者のニーズに応え、冬場の家族向け日帰りキャンプの企画事業（令和8年度実施予定）を開発しました。	評価	「評価の理由」 ・利用者のニーズを把握し、内容の充実、新規事業の実施を計画することにより、更なる満足度の向上に努めている。
意見・要望等への今後の対応	・今後も継続して利用者アンケート等を実施し、利用者の意見・要望の把握に努めていただく。 ・把握した利用者ニーズについては、可能な限り事業実施や施設運営に反映し、引き続き利用者の満足度向上に努めていただく。		
3 指定管理者制度活用効果			
① サービスの向上	・利用者のアンケート等も参考にし、新しい事業を含めた企画事業を実施。いずれの事業も申込締め切りを待たずに定員になる企画が多く、今後もお客様のニーズに応えられるよう努めてまいります。 - また、初めての企画「楯山城址で弓矢体験 ～山城の歴史を感じよう～」では、大江町教育委員会との連携協力のもと、国指定史跡「左沢楯山城跡」を活用した内容で事業を行い参加者からのアンケートでは満足の声が多数寄せられました。 ・お子様から高齢者まで幅広くご利用いただける生涯学習の拠点施設を目指し、新規講座を盛り込んだ広告チラシを村山地域全域（一部の地域を除く）に新聞折込し、10講座を開講。各講座月1～2回開催いたしました。また、新企画として「いろいろDEマスニジマスつかみ」と題して、魚をつかまえ自分でさばき、いろいろで焼いて食べる企画をし、事業には38名の参加をいただきました。 ・安全な大型バス運行を目指し、大型車の特性についての研修と大型バス雪道走行研修を外部的に実施いたしました。	評価	「評価の理由」 ・利用者のニーズに応じた事業を積極的に実施し、参加者の満足度向上に努めている。 ・幅広い年齢層を対象として魅力的な事業を実施し、利用者から好評を得ている。 ・利用者が安全に利用できるよう、職員の質の向上に努めている。 ・職員のきめ細やかで丁寧な対応により、職員の対応への満足度は、「満足」が約91%と非常に高い評価を得ている。

② 経費の節減	・管内教育委員会への事業等チラシ配布については直接持込とし、また所内資料の裏紙利用の徹底を図り、事務費節減に努めました。 ・利用状況に応じた人員配置により、人件費節減に努めました。 ・適宜、照明・ボイラーの入切りや冷房機の設定温度を28度設定し、扇風機を活用して光熱費節減に取り組みました。	評 価	≪評価の理由≫ ・これまでのノウハウを活かし、繁閑に応じた人員配置の調整やこまめな節電等の対策を行い、経費の節減に努めている。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	・大江町教育委員会の皆様から、企画事業「楯山城址で弓矢体験」の弓矢つくりの講師を務めていただきました。 ・「おおえの星空係」の皆様から、プラネタリウム一般公開時や企画事業の際、望遠鏡の使い方や銀河について解説していただきました。 ・地元県立左沢高校JRC部の皆様から企画事業「段ボールオープンでピザを焼こう」、「クリスマスリースづくり」を実施の際、ボランティアスタッフとしてお客様の活動をサポートしていただきました。 ・「月山湖管理組合」並びに「大江カヌー愛好会」と連携し、「親子キャンプ水の巻」を開催いたしました。 ・企画事業「ヤマガタダイカイギュウと化石掘り」では、大江町用地区、寒河江市白岩上野地区よりご協力をいただきました。 ・近隣市町より、新たに1名採用いたしました。	評 価	≪評価の理由≫ ・地域特有の資源を活かした事業を地元の団体等と連携しながら実施することで地域の活性化に貢献している。 ・地元学生ボランティアとの連携を深めることで地域を支える人材の育成にも寄与している。
総合的な評価	・県と指定管理者の連携・協力体制やこれまでの経験に基づき適切で安定的な施設運営が行われている。 ・幅広い年齢層を対象とした魅力的な事業の実施により、利用者の拡大につながっている。 ・開所から50年以上が経過し、施設設備の老朽化の進行により不具合が増加する中、日常の安全点検や速やかな修繕等により、利用者の安全の確保及び利便性の向上に努めている。 ・引き続き、利用者を第一としたサービスの提供に努め、工夫を凝らした運営に期待したい。		

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
 B : 概ね適正に実施されている。
 C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
 D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。